

合格者アンケート調査票

公認会計士試験合格者に対するアンケート

平成 21 年 12 月
金 融 庁

金融庁では、将来の公認会計士試験・資格制度のあり方の検討に役立てるため、公認会計士試験合格者の皆様の意識や実態について、各実務補習所のご協力を得てアンケート調査を実施したいと考えています。

つきましては、以下のアンケート調査にご協力をお願いします。

なお、アンケートの個別表を公表することはありませんが、アンケート集計結果については公表することがあり得ますので、ご承知おきください。

※ アンケートのご回答は、別紙の回答用紙にご記入いただき、お手数ですが、お帰りまでにご提出をお願いします。

I. 共通の項目(全員の方への質問)

7. 公認会計士試験を受験した（公認会計士試験合格を目指した）動機は何ですか（複数回答可）。

- ① 公認会計士の資格を取得するため
- ② 会計分野の専門知識を習得するため
- ③ 会計分野の専門家であることを証明するため
- ④ 監査法人・会計事務所に就職を希望するため
- ⑤ 就職、転職、独立に有利なため
- ⑥ 現在の組織内の処遇に有利なため
- ⑦ その他（具体的に記述して下さい）

()

8. 公認会計士試験合格にとどまらず、公認会計士資格を取得したいと思いませんか（一つだけ選んでください）。

- ① 必ず取得したい
- ② できれば取得したい
- ③ どちらでもよい
- ④ 取得するつもりはない

9. 「8」で①または②と回答した方にお尋ねします。

公認会計士資格を取得したい理由は何ですか（複数回答可）。

- ① 監査業務に従事するため
- ② 就職、転職、独立に有利なため
- ③ 社会的地位が高いため
- ④ 給与面で有利なため
- ⑤ 不況時でも仕事があるなど安定性が高いため
- ⑥ いずれ役に立つかもしれないため
- ⑦ 難しい試験に合格し、資格を取得したという達成感が得られるため
- ⑧ 合格だけでは公認会計士と名乗ることができず、ステータスが得られないため
- ⑨ 監査業務資格、税務業務資格などの特別な資格が得られるため
- ⑩ その他（具体的に記述して下さい）

()

10. 論文式試験を受験した時点での職業は何ですか（一つだけ選んでください。）。

- ① 監査法人・会計事務所職員（短答式試験合格を踏まえて採用された者など将来の会計士候補として働いている者）
- ② 監査法人・会計事務所職員（監査業務に携わらない事務職員）
- ③ 会社員（民間企業、団体職員、民間教育機関）
- ④ 公務員（公的教育機関を含む。）
- ⑤ その他就業者（自営業者など。パート、アルバイトを除く。）
- ⑥ 大学生
- ⑦ 大学院生
- ⑧ その他（専修学校生、受験予備校生、自主学習者、パート、アルバイト、無職など受験勉強に専念できる者）

※1 ①から⑤を選択した方は、そのまま以下の問（P6）にお進みください。問18（P9）までです。

※2 ⑥から⑧を選択した方は、問19（P10）にお進みください。問27（P15）までです。

Ⅱ. 問10で①から⑤を選択した方への質問

- 1 1. 「10」で②(監査法人・会計事務所職員(監査業務に携わらない事務職))、
③(会社員)と回答した方にお尋ねします。

どのような業務に従事されていますか(一つだけ選んでください)。

- ① 総務・経営企画
- ② 経理
- ③ 人事・労務
- ④ 財務・資金運用
- ⑤ 内部監査
- ⑥ 法務
- ⑦ 融資
- ⑧ 営業
- ⑨ 経営コンサルタント
- ⑩ 証券アナリスト
- ⑪ 教育(教員・講師)
- ⑫ その他()

- 1 2. 「10」で④(公務員)と回答した方にお尋ねします。

どのような業務に従事されていますか(一つだけ選んでください)。

- ① 検査・監査・調査
- ② 審査・監督
- ③ 経理・会計
- ④ 人事・労務
- ⑤ 法務
- ⑥ 企画立案・総務
- ⑦ 教育(教員・講師)
- ⑧ その他()

- 1 3. 「10」で⑤(その他就業者)と回答した方にお尋ねします。

どのような業務に従事されていますか(一つだけ選んでください)。

- ① 経営コンサルタント
- ② その他自営業
- ③ その他()

14. 「10」で①（監査法人・会計事務所職員（短答式試験合格を踏まえて採用された者など将来の会計士候補として働いている者））、②（監査法人・会計事務所職員（監査業務に携わらない事務職員））、③（会社員）、④（公務員）、⑤（その他就業者）と回答した方にお尋ねします。

所属している組織で会計専門家として勤務する上で、業務への応用の観点から、あまり必要性の感じられない科目は何ですか（複数回答可）。

- ① 短答式試験（財務会計論）
- ② 短答式試験（管理会計論）
- ③ 短答式試験（監査論）
- ④ 短答式試験（企業法）
- ⑤ 論文式試験（会計学）
- ⑥ 論文式試験（監査論）
- ⑦ 論文式試験（企業法）
- ⑧ 論文式試験（租税法）
- ⑨ 論文式試験（経営学）
- ⑩ 論文式試験（経済学）
- ⑪ 論文式試験（民法）
- ⑫ 論文式試験（統計学）

15. 「10」で①、②、③、④、⑤と回答した方にお尋ねします。

所属している組織で、会計専門家として勤務する上で得られた知識や経験だけでは、合格することが難しいなど、難易度が高すぎると感じられる科目は何ですか（複数回答可）。

- ① 短答式試験（財務会計論）
- ② 短答式試験（管理会計論）
- ③ 短答式試験（監査論）
- ④ 短答式試験（企業法）
- ⑤ 論文式試験（会計学）
- ⑥ 論文式試験（監査論）
- ⑦ 論文式試験（企業法）
- ⑧ 論文式試験（租税法）
- ⑨ 論文式試験（経営学）
- ⑩ 論文式試験（経済学）
- ⑪ 論文式試験（民法）
- ⑫ 論文式試験（統計学）

16. 「10」で①、②、③、④、⑤と回答した方にお尋ねします。

現在の仕事を継続し、あるいは業務内容を高度化する上で、監査証明資格や税理士資格など公認会計士の資格は有効ですか。また、同様の観点から、公認会計士のステイタスは有効ですか（一つだけ選んでください）。

- ① 資格もステイタスも有効
- ② 資格は有効だが、ステイタスは有効でない
- ③ 資格は有効でないが、ステイタスは有効
- ④ 資格もステイタスも有効でない
- ⑤ その他（具体的に記述してください）

()

17. 「10」で①、②、③、④、⑤と回答した方にお尋ねします。

現在の仕事を続けながら、今後、公認会計士資格を取得する、あるいは維持する上で、何が障害になりますか（複数回答可）。

- ① 仕事を続けながら実務補習所に通うのが大変である
- ② 仕事を続けながらCPE（継続的専門研修制度）の義務を履行するのが大変である
- ③ 公認会計士協会の会費負担等が大変である
- ④ 現在の組織において実務従事の要件（業務内容など）を満たすことが難しい
- ⑤ 現在の組織において実務従事の要件（資本金など）を満たすことが難しい
- ⑥ 現在の組織において実務従事の要件（2年以上など）を満たすことが難しい
- ⑦ 資格取得を目指すことについて、組織の理解やサポートが得られない
- ⑧ その他（具体的に記述してください）

()

18. その他、公認会計士試験・資格制度についてご意見がありましたら記載してください。

以上、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

Ⅲ. 問10で⑥から⑧を選択した方への質問

19. 「10」で⑥（大学生）、⑦（大学院生）、⑧（その他）と回答した方にお尋ねします。

受験勉強を始めた時期はいつですか（一つだけ選んでください。）。

- ① 高校生
- ② 大学1年生
- ③ 大学2年生
- ④ 大学3年生
- ⑤ 大学4年生
- ⑥ 大学院1年生
- ⑦ 大学院2年生
- ⑧ 最終学歴の学校（高校、大学、大学院）卒業後に受験勉強を開始
- ⑨ その他（具体的に記述してください。）

（ ）

20. 「10」で⑥、⑦、⑧と回答した方にお尋ねします。

今年の合格を機に、現時点で就職の内定が取れていますか（一つだけ選んでください。）。

- ① 内定が取れている
- ② まだ内定が取れていない（③、④を除く。）
- ③ 来年以降も在学中・進学予定であり内定を取る段階ではない
- ④ その他（具体的に記述してください。）

（ ）

21. 「20」で①（内定が取れている）と回答した方にお尋ねします。

どういうところに内定が取れましたか（一つだけ選んでください。複数ある場合は、就職を最も希望する先を選んでください。）。

- ① 監査法人・会計事務所職員（将来の会計士候補）
- ② 監査法人・会計事務所職員（監査業務に携わらない事務職員）
- ③ 会社員（民間企業、団体職員、民間教育機関）
- ④ 公務員（公的教育機関含む。）
- ⑤ その他（自営業者等）

2 4. 監査法人・会計事務所に就職を希望する方（既に内定を得ている方や転職を希望する方を含みます。）にお尋ねします。

監査法人・会計事務所に就職を希望する理由は何ですか（複数回答可）。

- ① 監査法人は実務補習所に通所しやすいため
- ② 監査法人は業務補助等の要件を満たしやすいため
- ③ 監査業務を行いたいため又はやりがいがあるため
- ④ 監査法人は企業に比べ高収入であるため
- ⑤ 身分（職）が安定していると思うため
- ⑥ 社会的地位が高いため
- ⑦ サラリーマンと違い自分の力で生きていけるため
- ⑧ 試験勉強を通じて得た専門的知識が無駄にならないため
- ⑨ 監査業務を通じて様々な企業について勉強ができ、将来のキャリアパス構築の観点から有益な経験が得られるため
- ⑩ 企業等の採用情報が少なかったため
- ⑪ 会社員や公務員に向いていないため
- ⑫ そもそも監査法人を目指して勉強を開始しており、初志貫徹するため
- ⑬ 年齢等を考慮すると監査法人以外への就職が難しいと考えたため
- ⑭ その他（具体的に記述して下さい。）

()

25. 監査法人・会計事務所に就職を希望する方（既に内定を得ている方や転職を希望する方を含みます。）にお尋ねします。

企業や官公庁など監査法人・会計事務所以外の就職先を希望しない理由は何ですか（複数回答可）。

- ① 企業等は実務補習所に通所しにくいいため
- ② 企業等は業務補助等の要件を満たしにくいいため
- ③ 監査業務が行えないため又はやりがいを感じられないため
- ④ 監査法人に比べ収入が見劣りするため
- ⑤ 組織に依存するサラリーマンにはなりたくないため
- ⑥ 社会的地位が必ずしも高くないため
- ⑦ 試験勉強を通じて得た専門的知識が有効に活用できないため
- ⑧ 一つの企業しか経験できなくて、将来のキャリアパス構築の観点から有益な経験が得られないため
- ⑨ 企業等の採用情報が少なかったため
- ⑩ 会社員や公務員に向いていないため
- ⑪ そもそも監査法人を目指して勉強を開始しており、初志貫徹するため
- ⑫ 年齢等を考慮すると監査法人以外への就職が難しいと考えため
- ⑬ いずれ景気が回復すれば、監査法人の求人が回復すると考えており、それに備えて、監査法人への就職活動を継続したいため
- ⑭ その他（具体的に記述して下さい。）

()

26. 監査法人・会計事務所に内定している方にお尋ねします。

監査法人・会計事務所に就職した後のキャリアパスについてどのように考えていますか（複数回答可）。

- ① 基本的に定年まで転職せず同一監査法人・会計事務所で勤務
- ② まずは大手監査法人に就職し、いずれは中堅・中小監査法人に転職
- ③ 中堅・中小監査法人に就職し、いずれは独立、開業
- ④ 監査法人又は会計事務所を設立
- ⑤ コンサルタント会社へ転職又はコンサルタント会社を設立
- ⑥ 民間企業等に転職
- ⑦ その他（具体的に記述して下さい。）

()

27. その他、公認会計士試験・資格制度についてご意見がありましたら記載してください。



以上、アンケートにご協力いただきありがとうございました。